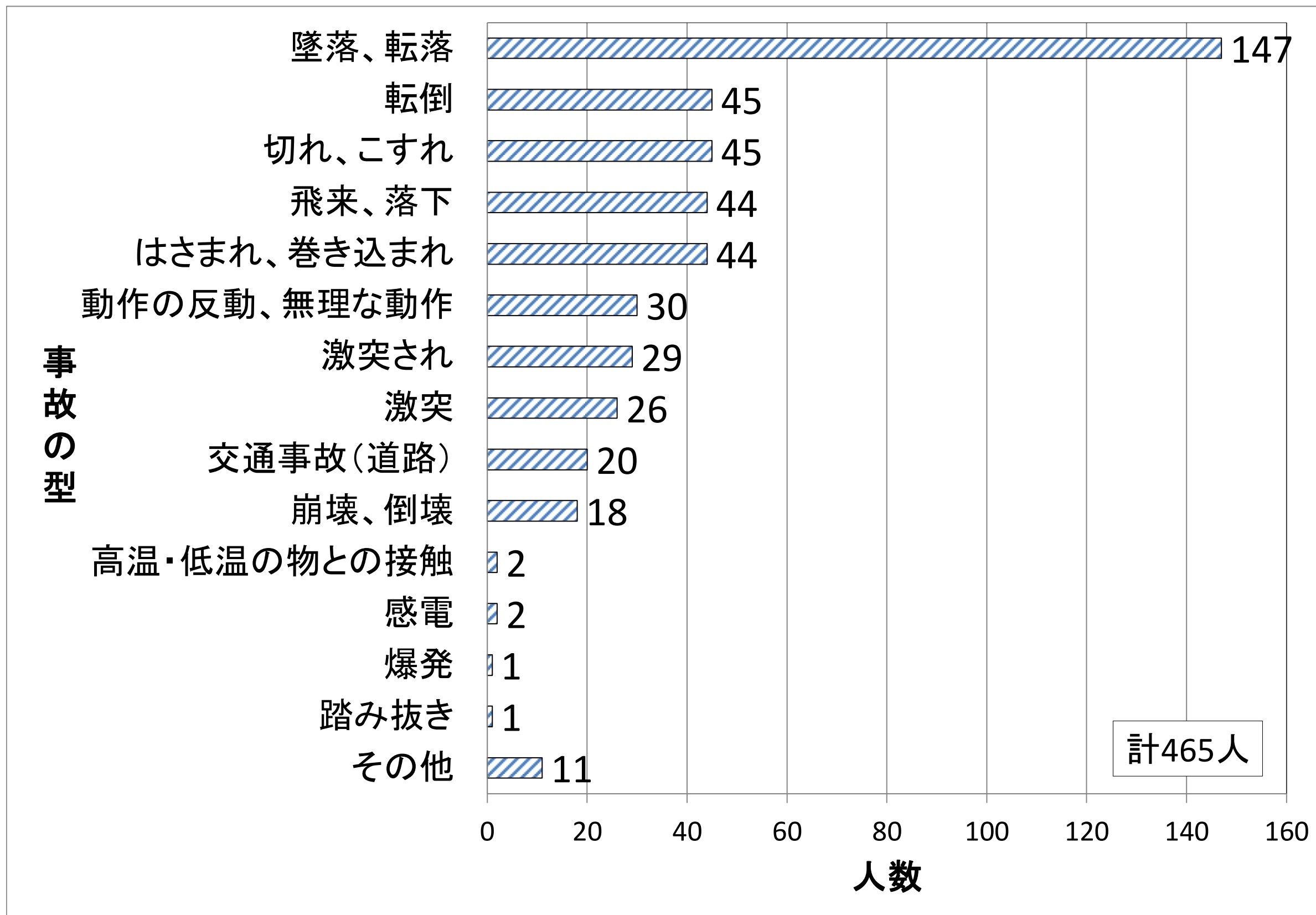


- ①平成25年1月～12月(平成26年3月末確定値)は、平成24年同期比で11.8%減、平成23年同期比で6.7%増となっています。前年同期に比べ平成25年は減少しているものの、今後の復旧・復興工事の本格化に伴い予断を許さない状況となっています。
- ②平成25年の建設業の月ごとの発生状況は、1月45人、2月37人、3月44人、4月43人、5月39人、6月47人、7月45人、8月32人、9月28人、10月38人、11月45人、12月22人となっています。特に、木造家屋建築工事(解体工事や改修工事を含む。)での労働災害が、依然として多発しているほか、震災により被害を受けたインフラ等の本格復旧に伴い、土木工事での労働災害も増加しています。
- ③平成25年、死亡災害は、土木工事で4件、建築工事で5件発生しています。土木工事では、水中で溶断作業中のガス爆発によるもの、立木伐採によるもの、移動式クレーンの作業によるもの、過重労働(脳疾患)によるものが発生しています。また、建築工事では、木造家屋建築工事で墜落によるものが2件、鉄骨・鉄筋コンクリート建築工事及び建築設備工事で交通事故によるものが3件発生しています。

建設業の労働災害の発生状況(25年1~12月)

1. 災害の原因別

平成26年3月末現在(確定値)



建設業の労働災害の発生状況(25年1~12月)

2. 年齢別

平成26年3月末現在(確定値)

